

編集後記

今月号は、「カリブ海地域における詩と演劇」の研究者・評論家であるエドワード・ボウ氏の講演予定原稿と堀江洋文先生のアイルランド人水夫コリンズ兄弟に関するご論考、およびボウ氏の講演開催のためご尽力いただいた松田智穂子先生がボウ氏の略歴や研究者・評論家としての活動内容についてよせてくださった紹介文から成る。

松田先生の解説に書かれているように、台風上陸に対する安全のための休講措置により、講演会は残念にも急遽中止となった。その代わりに、私たちは本号で、ボウ氏自身の人生における演劇へのかかわりにも触れた含蓄ある文体で、ポストコロニアル時代の現代に、カリブ海地域の演劇がいかなる歴史・移り変わりを経て、自らを主体的に表現する演劇へと姿を変えてきたのかを知ることができる。松田先生がボウ氏に自分史も込めた演劇史をお願いしていただいたことで、このようなあたたかい演劇史に出会うことができた。

堀江論文は、明治日本の帝国海軍の近代化のために、長きにわたって貢献し、多大の功績を挙げたアイルランド人水夫コリンズ兄弟を軸に、外国人海軍顧問が果たした役割を具体的な史料の渉猟により解明している。また、そのおかげもあって指揮を整えた帝国海軍は、明治20-30年代にアイルランドのコーク・ハーバーに寄港し、御地の海軍との交流を深め、海軍病院等の視察も行っている。黎明期の海軍が外国人顧問・教師によりはぐくまれた歴史に、人が果たす役割の重さを改めて感じた。 (正照良念)

執筆者紹介 (アイウエオ順)

Edward Baugh	Professor Emeritus of the University of the West Indies
堀江 洋文	経済学部教授
松田智穂子	経済学部講師

専修大学人文科学研究所月報

第274号 (2015. 1. 30)

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

専修大学人文科学研究所

発行者 伊吹克己